

令和 元年 5月 30日

出張報告書

津山市議会議員 村上 祐二

出張期間	令和 元年 5月 28日 ~ 平成 元年 5月 28日
出張先	倉敷ロイヤルアートホテル (倉敷市) 倉敷市阿知 3-21-19
出張内容	第34回岡山地方自治政策研究会に参加
応対者	岡山地方自治政策研究会 代表世話人 齋藤武二郎
概要	<p>概要</p> <p>5月28日18時から倉敷ロイヤルアートホテルで開催された、岡山地方自治政策研究会に参加した。今回のテーマは、「人口減少に対する公民連携」で、倉敷市の公民連携事業の取り組み状況について報告を受けた。参加者は15名であった。なお今回は、研修後食事をしながら講師を囲む会も開催された。</p> <p>所感</p> <p>倉敷市の報告の中に「公園にコンビニを」があり、時代もここまで来たかということ強く感じた。本市財産活用課の職員が高評価を受けていることも分かった。</p> <p>講師を囲む会では、実務担当者の生々しい経験談も聴くことができた。また今回の選挙で落選された方の出席もあり、議員活動の在り方についても貴重な意見をいただいた。</p> <p>公民連携は、本市においても喫緊の課題であることを痛感した。ネーミングライツ等も含め稼ぐ自治体を目指さなければならない。今後は、本日の参加者と情報収集や連携を密にし、先進的な取り組みを提案して参りたい。</p>

令和2年 1月 14 日

出張報告書

会派：

津山市議会議員 村上 祐二

出張期間	令和 2年1月 7日 ~ 令和 2年 1月 9日
出張先	徳島県勝浦郡上勝町、海部郡美波町
出張内容	・葉っぱビジネス、ゼロ・ウェイスト宣言の町現地視察（上勝町） ・関係人口創出（サテライトオフィス等）の先進地視察（美波町）
応対者	・(株)いんどり 代表取締役社長 横石知二 水澤莉奈ほか ・美波町政策推進課 主査 鍛冶淳也 (株)あわせ 神社純一郎ほか
概 要 所 感	・高橋寿治、勝浦正樹、三浦ひらく、私の4名は相手先の時間都合により、車に4名同乗で出張した。なお、8日の帰路香川県に入った16時頃、瀬戸中央道が強風で通行止めになっていることが分かった。よって当日やむを得ず高松に宿泊した。 ・1月7日 10時30分 上勝町のJA(葉っぱ)の集荷場で(株)いんどりの水澤莉奈さんと合流 生産者高尾晴子(70才代)さん宅訪問 45品目に分別のゴミステーション、NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー(くるくる工房)訪問 前野るりさん応対 12時 昼食 カフェ・ポールスター(地元野菜にこだわり)はわさび生産者多田和幸氏宅訪問 生産者西蔭幸代(80才代)さん宅訪問 16時 彩山視察後、(株)いんどり社内にて、社長の講話 ・1月8日 11時 サテライトオフィス(マリンラボ)にて 美波町政策推進課 主査 鍛冶淳也氏、サテライトオフィス誘致推進員 小林真紀子さんから講話 12時 サテライトオフィス(株)あわせ 神社純一郎氏応対 16時 急遽、高松に宿泊決定 ・1月9日 高松から帰津 所感等は、別紙

別紙

上勝町

・約 30 年前から「葉っぱビジネス」で有名になった、徳島県勝浦郡上勝町の現状を確認し、本市の今後の農業ビジネスや高齢者の生きがい対策の参考にした
いとの想いであった。人口 1,517 人世帯数 766 戸（令和元年 12 月 1 日現在）の
うち「葉っぱビジネス」参加 158 戸、2 億 6 千万円年間の売り上げで 1 千万円を
超える生産者もいるとのこと。生産者 3 名の方と面会をさせていただいた。3 名
の方の共通点は、元気で輝いているところであった。

・また、上勝町は 15 年前ゴミウエイト宣言し、本年が目標最終年である。よっ
て現状や今後の取り組み方を視察研修し、今後の本市のゴミ行政の参考とする
ものであった。

美波町

・総務省平成 30 年度「関係人口創出事業」のモデル事業調査報告書にも事例紹介
されている。「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流
人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことをいう。人口減少・
高齢化による、地域づくりの担い手不足という課題に対して、新たな担い手とし
て期待されている。サテライトオフィスを創出する拠点施設「マリンラボ」を視
察し講話をいただいた後、現地の「(株)あわえ」を訪問した。

・所感

上勝町においては、「葉っぱビジネス」の実状が把握できた。高齢者のビジネ
スとして成り立ち、何より 70 才代 80 才代の高齢者が元気で生き生きしていて、
パソコンやタブレットを操作していた。人間の本能を上手に引き出し、SNS の活
用手法が成功の秘訣と感じた。

美波町においては、「関係人口創出」に非常に前向きであり、担当者自身がプロ
意識に徹していて情熱的であった。

この視察で得たことは、人任せにしない「プロ意識」を持たないと成功はない
ということであった。

上勝町・美波町について、今後あらゆる手段でさらなる情報収集し、本市で取
り組めることを取捨選択のうえ政策提案し、実現していくことで本市の発展に
寄与して参りたい。

(参考様式2)

令和 2 年 3 月 30 日

出張報告書

津山市議会議員 村上 祐二

出張期間	令和 2 年 3 月 27 日 ~ 令和 2 年 3 月 27 日
出張先	岡山シーガルズ事務局 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 8 階
出張内容	岡山シーガルズの津山市への公式試合誘致について (要望活動)
応対者	大峯 剛 (岡山シーガルズ株式会社) 福吉友理 (岡山シーガルズ・マネージャー)
概要	<p>津山市の 3 月定例議会質問で、岡山シーガルズの津山市への公式試合誘致について、当局の答弁が前向きであった。(別紙—村上ゆうじ議会報告第 2 号の関連スポーツ振興についてのところを示して) その可能性について、伺いたいと申ししたところ、津山市さんは、試合の会場で「ホルモンうどん」の出店を頂いた事もあり良いイメージである。集客のための中国道や J R 津山線の公共交通についても特に気になることはない。観客席で仮設スタンドが設置可能かとか練習用のサブコート等の課題はある、とのことであった。</p> <p>こうした協議を通じて、今後の取り組み次第で、誘致実現の可能性を大きく感じた。</p>